

パープルリボンって何のマーク？

パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」の国際的なシンボルマークです。

「パープルリボン運動」は、世界を子どもや女性に対する暴力被害者にとって、より安全なものとすることを目的として、1994年、アメリカ・ニューハンプシャー州で始まった運動です。

紫色のリボンを衣服やカバンなどにつけることで、「暴力のない世界にしたい」と意思表示をすることができ、夫婦、親子、恋人間の暴力や虐待に関心を呼び起こすとともに、暴力のもとに身を置いている人々に勇気を与えようとの願いが込められています。国の調査では、女性の10人に1人はDVを受けていると報告されています。

夫やパートナー、恋人からの暴力、性犯罪、セクハラ、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で重要な課題です。

一人ひとりが、「暴力は許さない」という意識と、正しい認識を持ち、行動することができれば、暴力を減らすことができるのではないのでしょうか？

DV相談窓口 宇陀市人権推進課
毎月第4水曜日 13時～16時
専門の女性相談員による相談（要予約）
(0745-82-2147)



宇陀市人権啓発活動推進本部